

建築実務演習 第十三回 「研究・開発者編」～プロとは～ 高山 峯夫 先生

長 香世子
脇山 ゆかり
杉山 法子
桐野 雄一郎
中村 修平
本田 祐士
山本 征太郎

1960年1月某日に福岡県久留米市にて産声を上げる。小さいころから勤勉でとても真面目に勉強した甲斐があって無事大学まで進学した。そして大学で「免震」に出会った。ここで高山先生の人生が大きく変わった。

求められる能力（学部卒で就職に求められる能力）

Communication

Critical thinking

Creativity

Continuous learning

Challenge

Passion

常に考えることや創造性、コミュニケーション能力などは研究や開発に求められる。

人生を分けるものとして人（師）との出会い（別れ）、努力、決断と責任などが挙げられる。

プロとは

プロフェッショナルの略であり専門家という意味である。

プロフェッショナリズム（専門的職業意識）

- ① 専門的知識・技能
- ② 自負心
- ③ 探求心
- ④ 社会的責任
- ⑤ 日頃からの問題意識
- ⑥ たゆまぬ研究と努力
- ⑦ 不足の状況への柔軟な対応力

プロとは、いついかなる不足の状況下にあっても、冷静的に機能されてこそ、真のプロといえる。そのために経験が必要であるが、それに加えて大きいのは常に物事に対し積極的に問題意識を持って取り組み、研究し、たゆまぬ努力を積み重ねていくことが肝要。プロ

の言動には言い知れぬ信頼感や、限りない安心感が漂うもの。

構造計算における責任の重さ

1. 偽装した本人
2. 構造設計を外注した企業、つまり元請け業者であり意匠設計者
3. 施工業者
4. 確認審査機関
5. 国
6. 消費者（発注者）

1950年に建築基準法が設定されて改定されてきている。

↓

あくまで最低限の基準

↓

では最低限の基準を満足させれば健全・安全な建物なのか

ポイント

建築については制度をいじってもダメ→税金にも限度がある。

国民住民がどう考えるかが大事

耐震設計ではある程度壊れることは許容している。

倒壊防止が最重要

計算しても実際の建物がどのくらいの耐震性能を持っているのかは誰にもわからない

→きちんと作られているかわからない。管理、地震の種類、地盤など様々な要素があり、地震がくるまではその建物の本当の性能はわからない。

設計と計算は違う→計算はつじつまあわせ程度という人もいるほど建物の性能はわからない部分ばかり。

良いマンションと売れるマンションは違う→安く、早く（資本主義経済）

マンションは商品であり建築ではない。

一般ユーザーへの情報の提供→消費者の賢さも必要

美・用・強